

## 《長期欠席・不登校の早期発見のためのチェックリスト》

長期欠席・不登校の早期発見のために  
～ 子どもの些細なサインを見逃さないことが大切です ～

児童生徒の様子を細かく観察し、少しでも気になることがあれば複数の教職員で情報共有して、小さなサインを見逃さないようアンテナを高くしておくことが重要です。

不登校の原因を把握し、すぐに改善を図り、家庭やSC・SSWと連携して、解決していくことが大切です。

欠席が続く場合は、「欠席連絡アプローチカード」を活用し、教職員で丁寧な聞き取りをお願いします。(P64参照)



### 学校生活において児童生徒の言動を見るポイント

#### 学習・生活面

- 元気がなく、進んで活動しようとしなくなる。
- 授業中に居眠りするなど、集中力に欠ける態度がみられるようになる。
- 活動時に一人で行動することが多くなる。
- 宿題や提出物を出さなくなり、忘れ物が多くなる。
- 周りの友だちを極端に気にするようになる。
- 保健室に行く回数が増えたり、遅れて教室に入ってきたりすることが多くなる。
- 目的なしに職員室(職員室前廊下)に来るようになる。
- 頭痛・腹痛・発熱など体調不良を訴えるようになる。
- 表情の変化が乏しくなる。
- 遊んでいるように見えても、表情がさえず、おどおどした様子が見られる。
- 一人で過ごすことが多くなり、登下校や休み時間がつらそうになる。
- 友だちを避けるようになり、不満や批判をするようになる。
- 発言や態度に異常なほど周囲への気遣いが見られるようになる。
- 給食時に孤立したり、食欲がないと訴えたりするようになる。
- 休み時間前にはなかった衣服の汚れや破れ、擦り傷等が見られる。
- 月曜日や休み明けの日に、遅刻・早退が増えるようになる。
- 部活動に来なくなる。

### 家庭生活において児童生徒の言動を尋ねるポイント

#### 家庭

- 起床や就寝時刻が不規則になる。
- 寝不足を訴えるようになる。
- 登校時刻になると、体調不良を訴えるようになる。
- 食欲がなくなり、笑顔が少なくなる。
- 爪噛みやチックが見られるようになる。
- 理由もなく腹を立てたり、言葉遣いが荒っぽくなったりするようになる。
- ふさぎ込んだり、時には泣いたりするようになる。
- 自分の部屋に閉じこもってしまうことが多くなる。
- 携帯電話やパソコンのメール、SNSなどを必要以上に気にするようになる。
- 「どこか遠くへ行きたい」など現実逃避的な言葉を発するようになる。

● 長期欠席・不登校の具体的対応

## 《欠席連絡アプローチカード》

### 「欠席連絡」の段階からのアプローチ

保護者から欠席連絡 (tetoru)があり、2日間連続して欠席した場合は必ず電話連絡しましょう。

教職員

「どのような具合ですか？」  
「食欲はありますか？」  
「熱は測られましたか？」  
「何度くらいでしたか？」 など

具体的に  
細やかに聴く

不登校傾向、行事の前後、新学期始まりなどは、その日のうちに連絡しましょう。

※とくに「体調不良」「頭が痛い」「おなかが痛い」「だるい」「気分が悪い」「熱っぽい」など漠然とした理由で欠席の場合は、心理的に何かをかかえていることが考えられるので、きちんと把握して寄り添うような言葉かけをしましょう。

教職員

「それは心配ですね」「お大事に」  
「連絡ありがとうございます」

※相手が切ったことを確認して受話器をおきましょう。

場合によっては、家庭訪問を行い、顔を見て話しましょう。

※心配している気持ちを伝えましょう。

朝の時点で登校してなく、連絡がないなら、こちらからすぐに連絡しましょう。

### 明らかに病気であるというような明確な理由が確認できない場合の対策

#### ①何とか来てもらう

◎1校時だけでも来られないか。調子が悪くなったら保健室がある。早退してよい。

(この場合、1校時と言ったなら、絶対1校時で帰す。引き延ばさない)。

◎学校の中が無理なら校門まで来てタッチして下校ならできるか。

◎校門が無理なら途中の〇〇までなら行けそうなところはあるか。

◎玄関までなら出て来られるか。

◎保護者となら来られるか。

◎授業後なら来られるか。

◎**授業後に保護者となら来られるか。**

(このとき、子どもが全力の頑張りでなく、9割の力でクリアできそうなことにするのがコツ)

#### ②こちらから会いに行く

◎電話で様子を聞いたら、心配だし、顔も見たいし、届けるものもあるから、放課後に行きたいと伝えて、抵抗が強くない限り会いに行く。

◆会えたら、喜びや嬉しさを伝える

◆3つの事項を話す

①今日学校であったこと。授業や出来事。

②明日の見通し。時間割、持ち物。楽しみを見つけてやる。

③今日の行き渋った理由をその子なりに言葉にしてもらう。

(できそうな範囲で、無理強いはいしない)

● 長期欠席・不登校の具体的対応